



年度聖句

「それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。」

(ペテロの手紙第一 4 章 10 節)

DECEMBER 2024

SUNDAY	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY
1 聖餐式 2 歴代 20	2 2 歴代 21	3 2 歴代 22	4 2 歴代 23	5 2 歴代 24	6 2 歴代 25	7 2 歴代 26
08:45AM メッセージ：関牧師 10:30AM 分かち合いクラス 10:30AM 初心者クラス 11:30AM ファミリーミーティング		牧師休日	10AM オンライン祈祷会 7PM ユース&カレッジ集会	6PM HCC メンズフェローシップ (親睦会)		1PM 賛美フラ練習 3PM・5PM パソコンよろず相談会 7PM 「心に光を」クリスマスコンサート (カビ教会)
8 特別賛美：ゲイ本郷&シャロンフラ 2 歴代 27	9 2 歴代 28	10 2 歴代 29	11 2 歴代 30	12 2 歴代 31	13 2 歴代 32	14 2 歴代 33
08:45AM メッセージ：関牧師 10:30AM 分かち合いクラス 10:30AM 初心者クラス 11:30AM 執事会ミーティング		牧師休日	10AM 連合オンライン祈祷会			9AM パステル画クラス 1PM 賛美フラ練習 3PM・5PM パソコンよろず相談会
15 宣教支援献金 2 歴代 34	16 2 歴代 35	17 2 歴代 36	18 □-マ 1	19 □-マ 2	20 □-マ 3	21 □-マ 4
08:45AM メッセージ：関牧師 10:30AM 分かち合いクラス 10:30AM 初心者クラス		牧師休日	10AM オンライン祈祷会 7PM ユース&カレッジ集会	6PM HCC メンズフェローシップ (バイブルスタディ)		1PM 賛美フラ練習 3PM・5PM パソコンよろず相談会
22 クリスマス礼拝 □-マ 5	23 □-マ 6	24 □-マ 7	25 □-マ 8	26 □-マ 9	27 □-マ 10	28 □-マ 11
08:45AM メッセージ：関牧師 10:30AM 分かち合いクラス 10:30AM 初心者クラス		6:30PM キャンドルライト礼拝  Christmas Eve	 Christmas			9AM パステル画クラス 1PM 賛美フラ練習 3PM・5PM パソコンよろず相談会
29 □-マ 12	30 □-マ 13	31 □-マ 14				
08:45AM メッセージ：関牧師 10:30AM 分かち合いクラス 10:30AM 初心者クラス		6PM 年末祈祷会 New Years Eve				

～牧師便り～

ハレルヤ！先月、私は90歳の誕生日をむかえました。振り返ってみるといろいろな事が目に浮かびます。当時日本は大東亜共栄圏のスローガンのもと真っ直ぐに軍国主義の道をひた走り、この真珠湾攻撃を皮切りに大東亜戦争（当時）へと突入していきました。東京から長野の田舎に疎開していた私はそこで終戦を迎えましたが、毎日、家族がラジオの前に集まって戦況に一喜一憂していました。初めのうちは日本軍が優勢だったものの次第に劣勢となり、遂に広島、長崎への原爆投下という悲劇に見舞われ、天皇の敗戦宣言を聞くにいたったのです。その後一旦はアメリカ占領軍の支配下に置かれたものの、やがて日本はアメリカからの独立を果たし、新しい民主主義の旗印のもと、自由な国に生まれ変わります。しかし戦後の日本は経済的に貧しく、みんなが生きるために必死で働かなければならないという状態でした。今の日本の繁栄を見ると、それはまさに奇跡中の奇跡と言っても過言ではないでしょう。そんな中、街角の路傍伝道に誘われた私は、生まれて初めて教会の門をくぐることになりました。それまで宗教の話など聞いたことのなかった私にとって、語られる話はちんぷんかんぷんでしたが、教会内の温かさは孤独だった当時の私の心を捕らえるのに充分でした。クリスチャンになってからの私は様々な道を経てやがて神学校に導かれ、卒業して最愛の妻と結ばれ、仙川に西都福音教会をスタートさせました。ところが事はそれでは終わりませんでした。数年後に神様は不思議な摂理の御手を伸ばして、私達の考えもしなかった渡米の道を備えて下さったのです。渡米した私にはまず初めにロサンゼルス教会の友愛会を指導する任務が与えられ（溝口先生、古山先生は当時のメンバー）、その後2006年に72歳で引退するまで、サンファン教会、ウエストロサンゼルス教会、そしてホノルル教会の諸教会でご奉仕する機会が与えられました。当時、私がホノルルに行くと思った人々からは、まるで島流しなどと陰口をたたかれましたが、どうしてどうして、私にとってはまさに天国のような島ハワイです。ここで人生の最期を迎えられるのは、まさにこの上なき光栄と喜びです。しかも健康も支えられ、今は直接の奉仕の道からは離れていても、賛美と感謝の毎日を送らせていただいています。後何年生かして頂けるのかは知る由もありませんが、文字通り、最後の最後まで主を崇めて召されたいと願う者です。

Paul Suzuki

十二月の短歌

夫婦とは

長き線路をゆくがごと

良き思い出を

つむぐ旅路よ

マイク

十二月の俳句

讚美の音

耳に優しき

冬の街

宗慧

「シャロンゴスペルフラチーム」

ハレルヤ！主の御名をほめたたえます。

この度、月報にシャロンゴスペルフラのことを記載させていただける機会を与えてくださった主に、係の方に心から感謝いたします。

シャロンゴスペルフラがスタートしたのは、鈴木栄一牧師が就任された1996年以降でした。その以前は、生前の中野明子先生がご指導されていたそうです。私はその後から、つまり1996年に開催されました第一回目の「飛び出せミッション」から本格的にマキキの師匠であられたシェファール鈴木さんからご指導をうけて今日に及んでいます。シャロンの名前は鈴木牧師につけていただきました。

シャロンフラチームの目的は、フラを通して多くの人々に神様の福音を証しすることです。常に心を主に向け、祈りと感謝と喜びの心をもって踊ります。踊る時、表現する時、私達は自分の証しをしているのです。自分の中に沸き起こる喜びを、人に伝えているのです。私達の踊りを観た人々が神様を感じていただけるように祈りながら踊ることです。私達一人一人の弟子訓練でもあります。それは、互いに助け合い、励まし合い、敵対し合うことなく、相手を思いやることです。

シャロンフラチームの働きは、教会の礼拝で月一度のご奉仕をさせていただいております。その他にも、年に一度の連合フラの「心に光をクリスマス」コンサート、老人ホーム慰問、キャロリング、葬式、結婚式、等々です。

今後とも主から与えられたこのゴスペルフラという賜物を通して、多くの人々に神様の福音を証しすることができますように日々祈っていきたいと思います。

ヴァイヤース末子